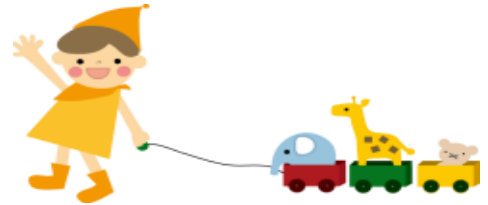


# 後見人が支援するうえで

## 必要なこと



成年後見制度が施行されてから17年が経ちましたが、ここ数年後見事件が飛躍的に増え、福祉の現場でも後見人と一緒に仕事をする機会が増えてきています。

しかし、家庭裁判所から選任される後見人は、人によって仕事の内容や範囲が様々で、中には本人に面会すらしない後見人も珍しくありません。

そこで、後見人はもちろん、日頃関わる親族や福祉関係者に後見制度の現状と問題を知っていただき、後見人が本人を支援するうえで必要なことを、再度見直す必要があると考え本研修会を企画しました。

前半講義では、千葉県手をつなぐ育成会が実施した知的障害者施設（62施設）のアンケート結果から、後見制度の現状と問題を知り、後半のグループワークでは前半講義を受けて、後見人が支援するうえで必要な姿勢や心構え、後見人がすべき業務を参加者全員で検討していきます。

本研修会は、後見制度に興味のある方（福祉関係者・法律家）にご案内しています。色々な角度から、お互いの立場や役割を知り、実務に生かしていただければ幸いです。

なお、研修後には懇親会もご用意していますので、お誘いあわせのうえ、お申込みください。（申込期限 平成29年10月27日）

【と き】 平成29年11月11日（土）13：30～16：40（受付13：15～）

【と ころ】 蘇我コミュニティセンター 3階 講習室2・3

【内 容】 テーマ「後見人が支援するうえで必要なこと」

講師 千葉県社会福祉士会 会長 渋沢 茂氏

千葉県手をつなぐ育成会 竜円香子氏・村山 園氏

≪13：30～14：10≫ 千葉県手をつなぐ育成会のアンケート結果報告

≪14：10～16：40≫ グループワーク&発表⇒さらにみんなで検討

【参加費】 無 料

【定員】 **10名**（先着順にさせていただきます。定員を超えた後に申し込みいただいた方にはこちらからお知らせさせていただきます。）

【主 催】 （公社）成年後見センター・リーガルサポート千葉県支部

